

神戸学生青年センター センターニュース

KOBE STUDENT YOUTH CENTER NEWS No.112

No.112

発行所 (公財)神戸学生青年センター
理事長 飛田 雄一
館長 朴 淳用

〒657-0051 神戸市灘区八幡町4-9-22
TEL (078)891-3018 FAX (078) 891-3019
Yahata-cho 4-9-22, Nada-ku
Kobe, 657-0051 Japan

E-mail: info@ksyc.jp
U R L https://ksyc.jp

旧センターのサロン室を使って2014年11月からスタートした「林賢宜さんの韓国料理教室」。開始当初は土曜日+平日1回という形で同じメニューで2回教室を開催していました。のちに、月1回土曜日に開催する形に落ち着き、新センターに移転後も人気の講座です。

今回は参加者の岩本政茂さんに林賢宜さんの韓国料理教室の魅力を語っていただきました。

林先生の韓国料理教室で新しい出会いと発見をしませんか？



韓国料理教室の様子



岩本 政茂

林先生の韓国料理教室をレポートします生徒の岩本政茂です。先に私事ですが、この教室に参加したのは2021年の11月です。きっかけは料理するのが好きで、特に韓国料理に興味がありました。自分のルーツでもある韓国文化を料理を通して友人たちにおもてなしするのが最近の楽しみです。

まずは、林先生をレポートします。林賢宜(イム・ヒョンウイ)先生は、ソウル出身で結婚後日本に在住しています。先生の韓国料理は繊細で上品です。お酒もお好きで、ジンが特に好きだそうです。韓国料理は、日本料理と似ているところもありますが、全く異なる食文化「薬食同源」を持っています。中国から伝わった食の考え方で、食べたものが体を作るため体に良いものを食べていれば薬を飲む必要はないという意味だそうです。

私が気に入っているメニューは、野菜や豚骨などで時間をかけて丁寧に煮出した具沢山のジャガイモ入り豚骨スープは絶品でした。美味しくて家でも作りましたがなかなかあの味に出会えません。頑張ります！

また、季節ごとに家庭料理から宮廷料理まで幅広くわたしたちの要望に応じて200種類以上のメニューを考案しています。

次に、教室の雰囲気と生徒さんについてレポートし

ます。開催日は月1回、定員12名の教室です。いつも盛況で人気の教室です。生徒さんは男性もいますが、女性が8割ぐらいです。授業は、先生からメニュー・調理手順の説明があり、その後生徒さんは各自、自主的に先生の調理補助を分担し、チームワークよく調理を進めていきます。途中、先生の秘伝の調味料で魔法をかけていただきます。また、生徒さんから韓国語の意味質問があると語学教室に様変わりと楽しい教室です。すごくアットホームな教室です。百聞は一見(実践)に如かず、実践を大切にしています。

心ときめく林先生の韓国料理教室、次回の開催をワクワクしながら待っています。

林賢宜さんの韓国料理教室は
毎月第1土曜に開催しています。
みなさまのご参加お待ちしております。



韓国風さしみ丼と
じゃがいもスープ

豚肉の青唐辛子とえのき巻き

六甲奨学基金2023年度の奨学生

1	K O P H Y O E	ミャンマー	関西国際旅行・ホテル専門学校
2	張 柳	中国	神戸市外国語大学
3	FARHAN SADEED FERDAUS	パキスタン	神戸情報大学院大学
4	劉 思 佳	中国	関西学院大学
5	LAMA KALPANA	ネパール	春日日本語学院
6	KHIN YADANAR MON	ミャンマー	大手前大学
7	李 昊 遠	中国	兵庫県立大学
8	YU TO CHOW	香港	コミュニカ学院

常設開催・古本市

昨年1月22日～本館3Fロビーで古本市を常設開催しています。5月にコープこうべ様よりたくさんのお本を寄贈いただきました。図書館の本ですのでシールがついていますが、気になる本がたくさんあります。コープこうべ寄贈本コーナーの単行本は3冊200円、文庫・新書は3冊100円で販売しています。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。本は随時募集しています。



Matuda Taeko World「まつだたえこの世界」

4月8～9日、センターホールで展示会、講演会、交流会が開かれました。実行委員会主催、学生センター後援です。昨年4月に亡くなられた松田妙子さんと交流のあった人々が実行委員会をつくって開催されました。松田さんが芦屋9条の会で上演した紙芝居「ローリングストーンズ」がスクリーンで再演されました。いまその実行委員会が他の紙芝居もYouTubeで見られるように準備中です。ぜひご覧ください。イベントにあわせて「増補改訂版」貧困さんいらっしゃい(1000円+税)および「松田妙子エッセイ集—いつか真珠の輝き」(800円+税)がセンター出版部よりいただきました。学生センターまたはAmazonで購入できます。



神戸・南京をむすぶ会講演会

講演会「東アジアの片隅の抗日戦争」。講師は、木田信正さん。昨年修士論文「螢石からみる近代日本の軍需産業と日中抗争史」を書かれました。日本軍のアルミニウム製錬における副原料・資材である螢石の獲得のための侵略ならびにあまり知られていない大陸の片隅で起こった抗日戦争についてお話いただきました。



5.22 木田信正さん

朝鮮史セミナー

関東大震災から100年を迎えました。西村直登さんから、「関東大震災100年—流言蜚語、朝鮮人虐殺、帰還—」をテーマに講演していただきました。西村さんは、1986年生まれの手研究で、震災下の朝鮮人虐殺事件について研究され論文を精力的に発表されています。同志社大学大学院で「関東大震災朝鮮人虐殺をめぐる朝鮮人の生と記憶」をテーマに博士号を取得されました。改めて関東大震災下の朝鮮人虐殺事件を学ぶ機会となりました。



7.20 西村直登さん

高作先生と学ぶ会

5月20日「安保3文書・OSAの批判的検討」、7月15日「臨時国会不召集違憲訴訟の行方」。関西大学法学部教授・高作正博さんの講演会では、熱心な参加者からの質疑、そして先生の応答も活発です。今の時代、ますます「日本国憲法」を基本に、現代を考えていくことの必要性を感じます。



7.15 高作正博さん

天皇制を考える市民講座

「在日朝鮮人と天皇制—京都で「民族名取り戻し」「10指指紋返還訴訟」「君が代訴訟」や「主基田抜穂の儀違憲訴訟」を闘って」をテーマに朴実さん(東九条マダン実行委、東九条CANフォーラム)が講演して下さいました。はてん会の会と共催。



4.26 朴実さん

六甲おーがにつく食堂

4/22、6/24、8/26に六甲おーがにつく市のイベントとして、おーがにつく食堂を開催しました。おーがにつく市の出店者の皆さんが野菜や米などを提供、当日は朝から調理して下さいます。料金は大人900円、子ども(小学生以下)500円、初回参加者はそれぞれ600円と300円。健康的でとても美味しかったです。今後も事前予約制で、偶数月に開催予定。ご参加お待ちしております。



6.24 おーがにつく食堂メニュー

六甲ウィメンズハウス建設に向けて

2024年4月入居開始を目標として、現在、内部工事のための準備を進めています。9月より工事が始まる予定で、来年2月には内部壁塗り作業をDIYで行う予定です。その際には皆様のご協力をお願いすることになると思います。随時お知らせ致します。



会議室A(本館ウエスト100)

会議に...ゼミ・会議・講演会に

<1時間以上30分単位でご利用いただけます>

ご予約は6か月前より
☎078-891-3018

会場利用料金(1時間ごと)



スタジオB(ノース10)

■ウエスト100(本館)

部屋名	定員数	広さ	料金(一般)	料金(学生)
ホール(2F)	60名	90㎡	2,200円	1,760円
会議室A(1F)	36名	60㎡	1,650円	1,320円
サロン室(1F)	20名	40㎡	1,650円	1,320円
会議室B(4F)	18名	25㎡	1,100円	880円
和室(4F)	12名	20㎡	1,100円	880円
会議室C(4F)	4名	8㎡	550円	440円

※ホール：グランドピアノ3,300円/回
会議室A：グランドピアノ2,200円/回
プロジェクト2,200円、マイク550円/本

■ノース10(北館)

部屋名	定員数	広さ	料金(一般)	料金(学生)
スタジオA	24名	35㎡	1,650円	1,320円
スタジオB	24名	30㎡	1,375円	1,100円
スタジオC	12名	20㎡	1,100円	880円

※スタジオA：アップライトピアノ1,100円/回、プロジェクト2,200円

- 準備、あとかたづけを含め、すべて利用時間内に行ってください。
- キャンセルをされる場合は必ずご連絡をお願いいたします。
- 連絡なく利用されなかった場合は利用料の100%、当日キャンセル80%、前日のキャンセル50%、前々日までのキャンセル無料です。
- 当館には駐車場がございません。ご了承ください。

事務所はウエスト100(本館)



ウエスト100 〒657-0051 神戸市灘区八幡町4丁目9-22

ノース10 〒657-0065 神戸市灘区富山町3丁目3-1 六甲駅前ビル4F

- 阪急六甲より徒歩1分
- JR六甲道より徒歩10分

食料環境セミナー

4月は使い捨て時代を考える会の樋田劭さんより、先生の幼少期の平和と戦時下の恐怖、戦後の民主主義と農業、高度経済成長期と有機農業運動等々先生の豊かな経験をもとに、農的暮らし共生共貧・自給努力の必要性について教えて頂きました。5月はソーシャルメディア研究会の竹内義博さんより、今のネットの特性と問題として低年齢化・スマホ化・無自覚化・使用の習慣化などについて説明した頂き、様々なトラブルを回避するための対策についても詳しく教えて頂きました。6月は西成チャイルドケアセンターの川辺康子さんより、こども食堂は貧困の問題ではなく、みんなの居場所であり、あったかいごはんが、命と心を元気にし、つながる安心を知り、人生が変わっていくことであると教えて頂きました。7月は気象防災アドバイザーの三橋功治さんより、異常気象は温暖化によってもたらされているといわれているもののその証明は容易ではなく、気象現象を把握し、自然災害から逃れることがとても重要であることや、自然災害に備えることが何より大事であることを教えて頂きました。



4.15 樋田劭さん



5.20 竹内義博さん



6.17 川辺康子さん



7.15 三橋功治さん

農塾

4月は日比野純一さんより、塩屋おーがにつく市の特徴や有機農業とかかわることとなった経緯、海外で行っている支援活動なども含め、テンペ料理の美味しさも教えて頂きました。



6月は春原伸佳さんより、ギリシャ発祥のオリーブオイルの栽培過程から収穫・搾油に至る過程を詳しく写真を用いて説明して頂きました。色んなオリーブオイルを使った料理も試食させて頂きました。

7月は堀江美紀さんより、ケーキ屋さんになったきっかけや今までの苦労、ケーキの材料にこだわる理由等々、美味しくケーキを作るための心掛けについても教えて頂きました。農塾にてお話し頂いたみなさん、ありがとうございました。

キリスト教セミナー

6月1日はキリスト教セミナー200回記念講演として、「釜ヶ崎と福音」をテーマに本田哲郎さんがお話しして下さいました。釜ヶ崎で日雇い労働者と生活を共にしながら聖書を学びだされた本田さんならではの学び澄まされた感性で、時にユーモアも交えた新鮮で有意義なセミナーでした。洗礼を受ける意味、聖書の言葉を現代の私たちがどう理解するか等、キリスト教信仰そのものを深く再考させられました。6月29日は「在日本南プレスビテリアンミッション(PCUS)と神戸学生青年センター」と題して飛田雄一さんと西山和さんによる講演と対談をして頂きました。昨年のセンター50周年記念式典に西山さんはじめ在日本南プレスビテリアン教会の関係者も出席して下さいました。飛田雄一さんの講演と西山さんへのインタビューを通してセンターの原点を探ろうと実現しました。西山さんは旧学生センター(六甲キリスト教学生センター)時代にマグルダ宣教師と共にスタッフとして働かれ、当時の貴重な証言をして下さいました。7月6日は宮内元さんが「日中戦争と神戸一福音新聞とバックストン宣教師」をテーマにお話し下さいました。宮内さんは日本イエス・キリスト教団に属し、福音新聞と日中戦争についての優れた卒業論文を書かれ、その内容を中心にお話を伺いました。各講師の皆さん、大変貴重な学びの時をありがとうございました。



6.1 本田哲郎さん



6.29 飛田雄一さんと西山和さん



7.6 宮内元さん

土曜ティーサロン

4月は多田美和さんが「サラリーマンが南国リゾートから北極までリモートワークした話」、6月は水上裕貴さんが「イスラエルの歩き方〜+45カ国旅してきた私のオススメ5都市」、7月は岩崎広貴さんが「タンザニアの歩き方〜幸せて何だろう?」をテーマに、多方面の視点からご自身の経験等をお話し下さいました。土曜サロンは毎月第1土曜日の午後2時から約1時間、海外の楽しいお話を聞いて、共に語り合うひとときです。



4月 多田美和さん



6月 水上裕貴さん



7月 岩崎広貴さん

定期利用 グループ・教室のご案内

- ◆からむい会(給更紗) 第2・4木曜日・後0~4:00
連絡先・小塚 078-731-3694
- ◆すぎなコーラス 月曜日・前10~12:00
連絡先・大谷 078-861-0338
- ◆神戸女声合唱団 金曜日・前10~12:00
連絡先・谷山 078-783-8665
- ◆創作アプリケ 第2・4月・金曜日・前10~12:00
第2・4金曜日・後1~3:00
柏原先生 078-821-4632
- ◆ノイエカンマーコール(混声コーラス) 第1・3・4土曜日・後5:30~9:00
連絡先・西山:080-5704-5406
- ◆ヨガ体操 火曜日・前10:00~12:00
廣瀬先生 078-851-8851
- ◆全珠連会員・熊内そらぼん六甲教室 火・後3~7:00、土・後2~5:00
奥野先生 078-241-1095
- ◆テコドーアカデミー武哲館道場 毎週金曜日・後7~9:00
妹尾先生 070-1046-1575
- ◆実践空手道場稽議会 毎週月曜日・後4~9:00
藤本先生 078-842-5669
- ◆すずめの学校(ニューヨークタイムズ紙を読む会) 第1・3金曜日 前10:00~12:00
連絡先・三田 090-7092-6903
- ◆前田書道会 第1・3火曜日・前9~後3:00
前田先生 078-385-1650
- ◆Rokko kids English Club 木・金 幼稚園クラス・親子クラス
山本先生 078-585-9328
- ◆東神戸トーストマスターズクラブ 第4土曜日 後1~5:00
連絡先・高橋 090-8160-2389
- ◆崑曲勉強会 第3日曜日 後1~5:00
連絡先・村田 078-806-8243
- ◆神戸フィラデルフィア教会 聖書の会 日曜日・前10~後1:00
連絡先 078-871-9192
- ◆公文阪急六甲駅前書写教室 水曜日・後3:30~8:00、土曜日・前9~後3:00
高田先生 080-4485-7877
- ◆居空間RoCoCo 火・水・木
連絡先 070-5346-6550
- ◆親子で手しごと『いいねっご』 第2土曜日・前9時~12時
連絡先・桑田 090-7755-0807
- ◆ハーモニースマイル 第1・3水曜前10~12時
第2・3・4金曜後1:30~3:30
松本先生080-5353-4135

お問合せやお申込は、各グループ・教室に直接ご連絡ください。

※当センターへの寄附金は、①所得控除または②税額控除が受けることができます。賛助会費、六甲奨学基金募金の両方に適用されます。詳しくはセンターにお問い合わせください。

賛助金・六甲ウィメンズハウス募金

2023.4.1~8.25(敬称略・単位円)

Table listing donors and amounts for the Women's House Fund. Includes names like 李善恵, 石打謙也, 吉田方則, etc., and amounts ranging from 3,000 to 50,000 yen.

賛助金ご協力のお願い

●賛助会費：一口 A3,000 B5,000 C10,000
※いずれも一口を単位としますが、何口でも結構です。
※送金方法
郵便振替(01160-6-1083 公益財団法人 神戸学生青年センター)

六甲奨学基金

2023.4.1~8.25(敬称略・単位円)

Table listing donors and amounts for the Roppongi Scholarship Fund. Includes names like 吉田方則, 三原章子, 辻川敦, etc., and amounts ranging from 3,000 to 100,000 yen.

六甲奨学基金ご協力のお願い

●賛助会費：一口 A3,000 B5,000 C10,000
※いずれも一口を単位としますが、何口でも結構です。
※送金方法
郵便振替(01160-6-1083 公益財団法人 神戸学生青年センター)

セミナーの記録

2023.4.1~8.31

食料環境セミナー

4月15日「いのち、健康、平和をあらためて考える」植田勲さん
5月20日「スマホ時代の子どもたちのために」竹内義博さん

第26期農塾

生産者のお話と農産物の販売
4月1日比野純一さん/6月3日春原伸佳さん/7月1日堀江美紀さん

朝鮮語・韓国語講座

夜初級1 毎週火曜日 尹智香さん

夜上級 毎週木曜日 尹智香さん
昼初級2 毎週金曜日 鄭京淑さん
応用 毎週金曜日午前 林賢宜さん

林賢宜さんの韓国料理教室

4月1日豚肉の青唐辛子とえのき巻き・どんぐりのムッ/6月3日韓国風さしみ・じゃがいもスープ/7月1日タン麺のチャプチェ・じゃがいも入り豚骨スープ

朝鮮史セミナー

7月20日「関東大震災100年―流言蜚語、朝鮮人虐殺、帰還―」西村直登さん

ろっこうおーがにつく市

非営利団体くらしの中のおーがにつく(共催)
毎週土曜日 野菜他の販売と交流会

現代キリスト教セミナー

6月1日200回記念講演「釜ヶ崎と福音」本田哲郎さん
6月29日「在日本南プレスビテリアンミッションと神戸学生青年センター」飛田雄一さん&西山和さん
7月6日「日中戦争と神戸―福音新聞とバックストン宣教師―」宮内元さん

六甲奨学基金

日本語サロン 毎週月・土曜日
古本市 本館ロビーにて常設開催



4・13奨学金授与式

森風社20周年記念展覧会

旧センターでは毎年クリスマスフェアに、北海道上川郡の工房から木工クラフトを届けていただいていた。今年、森風社開設20周年を迎えられ、学生センター1Fサロン室で展覧会を開催されました。連日たくさんの方が来場され、とてもにぎやかな様子でした。



8・12森風社作品展